

市民車座集会 開催結果概要

日時:平成 27 年 8 月 23 日(日)13:30~17:30
会場:川崎市総合福祉センター ホール
(エポックなかはら)

1. 開催概要について

- 「新たな総合計画」及び「行財政改革に関する計画」の策定に向けて、新たな総合計画の素案や行財政改革に関する計画の考え方と取組の方向性について広く周知するとともに計画に対する意見を聴取することを目的として、「市民車座集会」を開催しました。
- 当日は、会場である川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）ホールに約 200 名の市民の皆様にお越しいただき、川崎の今後の方向性についての説明のあと、活発な意見交換が行われました。

市民車座集会 次第
13:30-13:40 開会・市長挨拶
13:40-14:30 市長説明「新たな総合計画と行財政改革について」
14:45-17:30 意見交換 <ul style="list-style-type: none">・ 事前質問提出者との意見交換・ 終了予定時刻まで、フリーの質疑応答

2. 新たな総合計画と行財政改革についての市長説明

- 福田市長から、「新たな総合計画素案」及び「行財政改革に関する計画の考え方と取組の方向性」について、パワーポイントを用いながら、約50分間、説明を行いました。
- 「新たな総合計画素案」の策定に向けたさまざまな市民意見聴取の取組に触れた後、川崎が直面している課題や、川崎のポテンシャル、飛躍に向けたチャンスなどについて、具体的な数値を挙げながら説明し、こうしたことを踏まえながら、「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」をめざして、「安心のふるさとづくり」「力強い産業都市づくり」のバランスのとれたまちづくりを進めていく必要があると説明しました。
- さらに、個別の政策の方向性を説明するとともに、成果指標を具体的に説明しながら、市民にとって生活の向上が実感できるよう取り組んでいきたいと述べました。
- 続いて、新たな総合計画を着実に推進していくための、計画の推進に向けての考え方を説明し、多様な主体との連携についての重要性や、経営資源の確保、今後の財政運営の基本的な考え方などについて説明しました。
- さらに、行財政改革を進めるうえでの現状や課題、水泳教室や子育て支援アプリを例にした「質的改革」についての説明を行うとともに、今後の改革の取組について説明を行いました。

3. 市長との意見交換

- まず、あらかじめ募集した事前質問カードを提出いただいた市民の方 10 名と、1 名ずつ順番に意見交換を行ったあと、終了予定時刻まで挙手による当日質問を受け付け、3時間近くにわたって、意見交換を行いました。
- 事前質問としては、麻生区早野におけるバス路線運行に関する要望や、公園遊具の整備の方向性に関する質問、ハローワーク手話通訳員の増設に関する要望、自助・共助（互助）・公助の考え方などに対する意見、小児医療費助成制度拡充に関する意見、高齢者・障害者施策や小杉駅周辺まちづくりに関する意見、中原区井田の交通安全対策や学校体育館の使用料についての意見、子供の貧困への対応や市のイメージアップへの意見、中原平和公園等の活用に関する意見などをいただき、一つ一つ、市の考え方などを説明しました。
- フリーの質疑応答では、少人数学級の中学校への導入やこれまでの行革の取組への評価や財源の確保、今後の成長産業、小杉駅周辺のまちづくりなどについての質問が出されたほか、中高一貫校や食の安全、しんゆり芸術のまちの全市展開、市民の集える場づくり、子どもの権利条例の大人を含めた周知、子どもの頃からの親水の重要性、さいか屋周辺のまちづくりなどに関して意見をいただき、時間いっぱいまで意見交換を行いました。

